

平成 23 年度 1 学期 終業式の挨拶

茨木支援学校 准校長 小林 信恵

みなさんおはようございます。今日は第一学期の終業式ですね。

4月7日に入学式があり、小学部13名、中学部11名、高等部40名の新しい仲間を迎え3カ月がたちました。小学部では、遠足や、5年生宿泊学習、中学部は、3年生修学旅行、2年生宿泊学習、高等部は進路実習があり、全校生にとっては、プール学習などの楽しい行事がありましたね。7月9日には、納涼大会改め、ひまわりフェスタがありました。先生は、あっという間の一学期だったように思います。

4月8日の始業式の時に、高塚校長先生から2つの大切なお話がありました。覚えていますか？

「一つ目は、あいさつをしましょう。」でした。「おはよう」「こんばんは」「ありがとうございます」「おねがいます」あいさつは「人と人」をつなぐために大切なことですね。と校長先生からお話がありました。みなさんは出来ましたか？あいさつというものはなくても生きていけますが、あったらとっても嬉しいものですね。

「二つ目は、目標をもって、学校生活を送りましょう」でした。自分がしたいと思ったこと、頑張ろうと思ったことを忘れないで学校生活が送れましたか？

夏休み中も自分のしたいこと、頑張ろうと思うことに挑戦してください。

夏休みになってもここに止めてくださいね。

3月11日に東日本大震災が起きました。4カ月が過ぎました。被災されたみなさんは、まだまだ不自由な生活環境の中でがんばっておられます。私たちも、「今私にできること」を考え、共にがんばっていきたいとおもいます。

明日から夏休みが始まります。高等部棟は工事が始まっていますね。8月の全校登校日は、ありませんので注意してください。

夏休み中、たくさんの経験を積んでください。そして健康に注意して9月1日に茨木支援学校181名の全員が元気に集合するようにと思います。